

2023年度
第1回核兵器廃絶市民講座：
G7広島サミットを前に

西田 充（長崎大学）

(2023.4.22)

過去のG7/G8：形式面

- 首脳レベルか外相レベルか
 - その時々的情勢や議長国の優先度によって変化（必ずしも直線的な変化ではない）
 - 米国の政権交代による影響
- 首脳：「首脳宣言」「首脳コミュニケ」「議長総括」
- 外相：「外相コミュニケ」「議長総括」
- 個別の軍縮・不拡散共同声明(2002-)：首脳、外相、局長

過去のG7/G8：形式面

- ブッシュ政権時代
 - 2001.9.11同時多発テロ事件後、核テロ・不拡散について多くの首脳レベルの声明（個別声明を含む）
- オバマ政権時代
 - 「核なき世界」で一時盛り上がるも、2013年頃から首脳レベルでの取り扱いが減り、外相レベルに格下げ
 - 2016年の伊勢志摩サミットで（岸田外相時）、外相レベルではあるが「広島宣言」を採択（初めてで唯一の形式）。
- トランプ政権時代
 - 首脳レベルでの扱いは大幅に減少。外相レベルでは継続。

過去のG7/G8：内容面

- 影響する要因：核をめぐる情勢、米国の政権
 - 2000年代（ブッシュ）：9.11テロ、北朝鮮・イランの核拡散
 - 不拡散中心、首脳レベル
 - 2010年前後（オバマ）：「核なき世界」
 - 軍縮（「核なき世界」の言及を含む）が追加
 - 2010年代後半（トランプ）：大国間競争（米露、米中対立）
 - 「核なき世界」やCTBTへの言及が後退
 - 現在（バイデン）：ロシアによるウクライナ侵略

過去のG7/G8：内容面

- 基本的には、いわゆる「現実的・実践的な核軍縮措置」と言われるものが中心
 - 包括的核実験禁止条約(CTBT)、カットオフ条約(FMCT)
 - 米露の新START
 - 透明性（2008年以降）
 - 核リスク低減（2019年以降）
- IAEA保障措置、追加議定書
- 輸出管理
- グローバル・パートナーシップ（旧ソ連諸国関係）
- 濃縮・再処理技術規制

過去のG7/G8：内容面（「核なき世界」）

- オバマ政権時
 - 2009年に初めて言及。首脳レベル（それまでは不拡散）
 - 2012年（米国）～2015年まで不遇の時代
 - 2016年（日本）で5年ぶりに首脳宣言で復活＋「広島宣言」
- トランプ政権時
 - 2017年以降、基本的に言及なし
- バイデン政権時
 - 2021年以降、復活
 - 「全ての者にとっての損なわれることのない安全保障とともに、核兵器のない世界という究極の目標にコミット」
 - 2022年のドイツのサミットでは、首脳コミュニケにも復活
 - 2023年？（外相コミュニケ、局長声明で同じ文言）

過去のG7/G8：内容面（「核なき世界」）

- 2009-2011年（首脳）：「核兵器のない世界のための条件をつくるとのコミットメント」
- 2016年（外相：広島宣言）：「核兵器のない世界に向けた環境を醸成するとのコミットメントを再確認」
- 2019年（局長）：「全ての者にとって安全が損なわれない形での核兵器のない世界という究極的な目標を支持」
- 2021-22年（外相、首脳）：同上
- 2023年（外相、局長）：同上

2016年「広島宣言」

- 一連のG7/G8の流れでは、かなり特異な存在
- 「広島及び長崎の人々は、原子爆弾投下による極めて甚大な壊滅と非人間的な苦難という結末を経験」
- 「何十年間にわたって、我々のような政治指導者やその他の訪問者が広島及び長崎を訪れ、深く心を揺さぶられてきた。我々は、他の人々が同様に訪問することを希望する。我々は、核兵器は二度と使われてはならないという広島及び長崎の人々の心からの強い願いを共にしている。」

G7広島サミットでの注目点

- 情勢認識と処方箋
- 核兵器に関する認識（非人道性）
- 「核なき世界」というビジョンと道筋
- 核不使用・恫喝
- 核リスク低減
- 新START後の米露の軍備管理・軍縮
- 核分裂性物質、カットオフ条約
- 透明性
- 核兵器禁止条約(TPNW)
- 被爆地訪問

G7広島サミットでの注目点

- 多くの論点は4.17局長声明と4.18外相コミュニケで既出
- 首脳レベル声明に残された論点はあるのか？
- 一応の注目点
 - 核兵器の非人道性や核抑止についての認識
 - 「核なき世界」ビジョン
 - 核不使用・威嚇の規範（ロシア）
 - 中国の核軍拡
- イベント
 - 原爆資料館の訪問
 - 被爆者との対話

(参考) RECNAポリシーペーパー
ウクライナ侵略と広島G7 サミット：日本の核軍縮外交の課題

- 核軍拡の時代
- 最低限のこと：3つの規範
 - 核不使用・威嚇 (non-use/non-threat)
 - 核不実験(non-test)
 - 核兵器用核分裂性物質不生産(non-production)
- 地域における軍備管理・軍縮
 - 中距離ミサイルへの核弾頭搭載禁止
 - 「核兵器のない北東アジア」構想
- <https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/topics/42994>